

健康講座

白内障について

岩倉市医師会 友松 威

目の中にはカメラのレンズに相当する水晶体という組織があります。正常な水晶体は透明でよく光を通しますが、さまざまな原因で水晶体は混濁します。この水晶体が混濁した状態を白内障といいます。

白内障の原因として最も多いのは加齢によるものです。60歳になったら眼科を受診して白内障の有無を診てもらいましょう。他の原因としては、糖尿病やアトピー性皮膚炎などがあります。糖尿病やアトピー性皮膚炎がある方は、若くても白内障を発症することがあるため、眼科で定期検査を受けましょう。

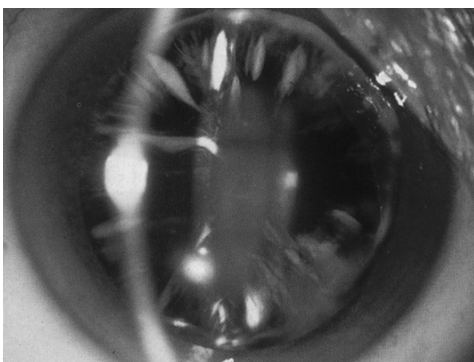
白内障の症状としては、①かすん

で見える、②まぶしく感じる、③メガネが合わなくなる、④二重に見える、などがあります。水晶体の濁り方によって症状も異なります。

白内障と診断された場合、治療方法は病状の進行段階によって異なります。日常生活や仕事に支障が出ていない場合は、ピレノキシン製剤やグルタチオン製剤による点眼治療が基本です。ただし、点眼薬を使用しても水晶体が透明に戻るわけではなく、白内障の進行を遅らせることが目的です。日常生活や仕事に支障が出てきた場合は、濁った水晶体を取り除き、人工水晶体を挿入する外科的手術が行われます。通常、手術は

局所麻酔で行い、手術時間も10分程度で痛みもありません。多くの場合、日帰りで手術を受けることが可能です。単焦点の人工水晶体を用いた白内障手術は保険診療が適応されますが、ピントを調節する機能がないため、手術後にメガネによる矯正が必要になる場合があります。手術後にメガネを使いたくない場合は多焦点の人工水晶体を使用する方法もありますが、保険診療が適応されず、費用が高額になってしまいます。民間の医療保険の中には先進医療にかかる費用を負担してくれる保険があり、この保険の加入者は多焦点人工水晶体を使用する白内障手術の先進

医療費（自費負担）が給付され、無料で手術を受けることができます。白内障手術を受けるときは、主治医に手術内容だけではなく保険についてもよく相談してください。



▲白内障の写真